

令和7年度 包括的な支援体制の構築・整備に向けたモデル事業 実績報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、以下に事業の概要を分かりやすく、簡潔に記入してください。

社協名	座間市 社会福祉協議会
対象となる実践・テーマ ※いずれか1つに○をつける	(1)行政および地域の関係機関・団体、担い手との協働による包括的支援体制構築の促進
	(2)個別支援と地域支援の一体的推進、および「相談支援」「参加支援」「地域づくり」を意識した具体的実践の促進
	○ (3)その他、包括的支援体制の構築に関わる取り組み
事業名	令和7年度座間市社会福祉協議会内部研修 包括的な社内支援体制構築

事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕

※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入して下さい。

※各市町村社協ホームページ等にて本事業の掲載等を行う場合は、URL を記載して下さい。

個別支援から地域支援へと切れ目なくつながる体制の構築と、複数拠点間における情報共有の強化を目的として、本事業を実施しました。これまで課題となっていた拠点間のコミュニケーション不足や情報共有の停滞に対し、職員一人ひとりの対応力向上と組織全体の連携強化に取り組みました。

武蔵野大学人間科学部社会福祉学科 渡辺裕一先生をお招きし、3拠点の職員が直接顔を合わせる機会を設け、「風通しの良い組織づくり」をテーマに、円滑なコミュニケーションの方法や互いの強みを認め合うワークショップを行い、職員が安心して意見交換できる環境づくりを進めました。

その結果、これまで接点の少なかった職員同士の相互理解が深まり、拠点間の心理的な距離が縮まりました。また、「悩みや課題を一人で抱え込まず、組織全体で共有する」という意識が生まれ、一体感の醸成に向けた土台づくりにつながりました。

今後は、本事業で築かれた横のつながりを活かしながら、日常業務においてもスムーズに情報共有や相談が行える仕組みづくりを進めていきます。引き続き、組織全体で地域を支える包括的な支援体制の実現を目指してまいります。

